

題目： 水蒸気噴火の準備過程およびマグマ噴火への移行プロセスの解明

日時： 2014年10月29日（水） 10:30～17:00

場所： 名古屋大学環境総合館 3F 講義室 2

連絡担当者：橋本武志（北海道大学）・山岡耕春（名古屋大学）

## プログラム

10:30-10:40 大倉敬宏（京大理） 趣旨説明

### 1. 今年噴火した3火山（御嶽山・口永良部島・阿蘇山）

10:40-11:00 山岡耕春（名大環境）「御嶽山9.27噴火の概要」（仮）

11:00-11:20 中道治久（京大理）「2014年9月御嶽山噴火発生までの活動」

11:20-11:40 井口正人（京大防）「口永良部島2014年噴火」（仮）

11:40-12:00 大倉敬宏（京大理）「阿蘇山2013-2014年の活動」

(12:00-13:00 昼休み)

### 2. 熱水系卓越型火山諸課題の研究対象となっている火山

13:00-13:20 野上健治（東工大火山流体）「草津白根山の活動活発化」（仮）

13:20-13:40 市來雅啓（東北大理）「吾妻山の活動と今後の観測計画」

13:40-14:00 橋本武志（北大理）「十勝岳の活動と熱水系卓越型火山課題での研究のねらい」

14:00-14:20 山本 希（東北大）「蔵王山の活動変化とこれまでの観測結果」

### 3. 水蒸気噴火からマグマ噴火へ移行した噴火の事例

14:20-14:40 中田節也（東大震研）「雲仙普賢岳・新燃岳噴火の活動推移」

14:40-14:50 中田節也（東大震研）・井口正人（京大防）「シナブン火山の活動推移」

14:50-15:10 鍵山恒臣（京大理）「マグマ噴火-水蒸気噴火-噴火未遂の視点で雲仙普賢岳 1990-1995・浅間山 1982 年噴火を考える」

(15:10-15:40 休憩)

### 4. 今後の展開を見据えた話題提供と総合討論

15:40-16:00 中川光弘（北大理）「熱水系卓越型火山課題：地質・物質科学のねらいと進捗状況」（仮）

16:00-16:15 山岡耕春（名大環境）「『2014 年御嶽山火山噴火に関する総合調査』の概要」（仮）

16:15-16:25 野上健治（東工大火山流体）「草津白根山の減災に向けた東工大と草津町の取り組み」

その後、17:00 まで総合討論・海外の事例・災害科学の観点から現状の問題点の指摘・水蒸気噴火に対する今後の研究の方向性 など